

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 20 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	総務課
				課長	原澤 志利
施策	11	交通安全対策の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名		対象	意図
	①町民	①交通事故にあわない、起こさない。		1	交通安全意識の高揚	町民	交通安全に対する意識や知識を高める。
				2	交通安全施設の整備	町民	安全に通行できる。
				3			
				4			
				5			

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	交通人身事故発生件数 (町内/町民が第1当事者)	件	実績値	94/107	114 /130	82/93	90/108	74/89	73/80	73/ -
				目標値		93/105	91/102	90/99	88/96	87/93	85/90
	B	交通事故による人的被害者数 (死者/傷者)	人	実績値	1/133	1/162	1/109	0/141	0/96	1/101	1/96
				目標値		0/131	0/129	0/127	0/125	0/123	0/120
	C	交通安全施設の要望に対する設置率	%	実績値	64.3	62.2	68.8	90.0	66.7	68.7	68.4
				目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
				目標値							
	F			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方と 実績値の把握方法	A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 ※「町民が第1当事者」件数は、平成29年より、群馬県警の「交通死亡事故分析シリーズ」資料から表記がなくなったため、件数を確認できない。 交通人身事故統計年報による ※1月～12月の数値
	B) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 交通人身事故統計年報による ※1月～12月の数値 C) 数値が高まれば、目的が達成されているといえるため成果指標とした。 ※交通安全施設の設置箇所数/地区からの要望箇所のうち、必要と判断された箇所数

目標値設定の考え方	A) 人身事故発生件数(町民が第1当事者)は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。毎年3件ずつ減少させることを目標とする。人身事故発生件数(町内)のうち、約半数が町民が第1当事者であることから、成り行きでは毎年1件減少する。目標として2年で3件の減少をめざす。【交通人身事故第1当事者市町村別居住状況(人口10万人あたり)榛東村:1,113人(H23)、昭和村:570人(H23)、沼田市:568人(H24)、片品村:563人(H23)、川場村:391人(H23)、みなかみ町:514人(H23)】
	B) 交通事故による死者数は0件をめざす。傷者については、交通事故の約半数が町民であることから、成り行きでは人口の減少に伴って毎年1件減少と設定。交通人身事故発生件数との相関関係が強い指標であり、事故1件あたりの負傷者数を平成23年度実績の1.41と想定して、平成29年度には85件×1.41＝120人をめざす。 C) 要望箇所数は、交通安全施設の整備により減少傾向にあると考えられる。設置の必要性はあるが協力を得られないなどの外的要因(用地問題、国・県協議等)により実施できない場合もあり、成り行き値は要望に対し70%で見込んでいる。目標値は、交通安全に対する必要性を関係者に訴え、理解・協力してもらうことにより80%の設置をめざす。

施策のための 役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ①交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。 ②歩行者、運転者ともに交通ルールを遵守する。	2. 行政(町、県、国)の役割 ①関係機関と連携し、交通安全施設の整備を推進する。 ②交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。 ③警察に要望していることについて、1日も早く実現してもらえるようにより具体的に伝える。
-------------------	---	--

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？ 高齢化に伴い高齢運転者の増加が予想される。アクセルとブレーキを踏み間違え急発進による事故が増加している。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ ①交通事故をなくしてほしいという期待がある。 ②ガードレールやカーブミラー等を設置するなど交通安全対策を進めているが、交通事情の変化により新たな場所に設置を求める声がある。 ③通学路の安全対策を求める声がある。
-----------	--	--

施策	11	交通安全対策の推進	主管課	名称	総務課
				課長	原澤 志利

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	☐ かなり向上した。	①町内の交通人身事故発生件数の経過は、平成28年は73件だったが、平成29年も73件と横ばい状態である。町民が第1当事者となった交通人身事故発生件数は、統計資料から表記がなくなったため、比較することができない。 ②町内の交通事故負傷者数は、平成27年は96人、平成28年は101人。平成29年は96人となり5人減少している。 ③交通安全施設について、平成28年度は要望16件のうち11件実施した。平成29年度は19件の要望に対し13件実施している。設置率は68.4%であった。
		☐ どちらかといえば向上した。	
		☒ ほとんど変わらない。(横ばい状態)	
		☐ どちらかといえば低下した。	
	② 他団体との比較	☐ かなり高い水準である。	①平成29年中の利根沼田地区交通事故発生件数は、沼田市215件、片品村6件、川場村9件、昭和村17件、みなかみ町73件となっている。10万人あたりの交通事故発生件数では、沼田市454.2件、片品村143.2件、川場村251.3件、昭和村236.2件、みなかみ町395.2件となっており、近隣市町村と比較して沼田市に次いでみなかみ町が多いこととなる。 ②平成29年中の人口10万人あたりの交通人身事故発生件数のうち、県内市町村で比較すると、最良が片品村の143.2件、最悪が前橋市で917.2件となっている。近隣市町村の順位は片品村、昭和村、川場村、みなかみ町、沼田市の順となっている。
		☐ どちらかといえば高い水準である。	
		☒ ほぼ同水準である。	
		☐ どちらかといえば低い水準である。	
	③ 目標の達成状況	☐ かなり低い水準である。	
		☐ 目標値を大きく上回った。	①交通人身事故発生件数の実績値は、横ばい状態であるが、目標を達成した。 ②交通事故による人的被害者数の実績値は、死者数1人、傷者96人であり、死者数の目標値が0である中、1名の死者が出てしまった。傷者は目標値と比べて24人減少している。 ③交通安全施設の要望に対する設置率の実績値は68.4%であり、目標値を下回った。
		☐ 目標値を多少上回った。	
		☒ ほぼ目標値どおりの成果であった。	
		☐ 目標値を多少下回った。	
		☐ 目標値を大きく下回った。	
成果実績に対する総括			①四季の交通安全運動期間中には、警察や交通安全協会、交通指導員、交通安全会女性部等と連携して、交通事故防止を呼びかけた。 ②子どもが交通事故にあわないように、交通安全教室を幼稚園やこども園、各小中学校で実施した。 ③交通指導員の協力を得て、各小中学校における交通安全指導に加え、町民体育祭や地区の祭り等イベントにおいて交通事故防止の啓発活動を行った。 ④交通安全対策施設整備事業として、交通安全対策特別交付金(国費)等により、カーブミラー(22件)・区画線(2699m)などの整備を行った。 ⑤交通安全だよりを各行政区へ配布し、地域における交通安全を啓発した。 ⑥水上地区では交通安全会が独自に組織されており、新入学児童の下校指導や四季ごとのシートベルト着用街頭指導などを実施している。 ⑦通学路における危険箇所などについて、国土交通省や沼田土木事務所、沼田警察署、教育関係者、町で点検・確認を行い、安全確保のための協議を行った。

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	交通安全意識の高揚	①児童生徒の通学路について、PTAや学校などと連携して、安全を確保する必要がある。 ②全国的に、高齢者の自動車運転操作の誤りによる事故が増加している。	①各こども園や小学校で開催する交通安全教室において、交通ルール等について啓発する。 ②高齢者の自動車運転に対する事故防止を啓発するとともに、免許自主返納支援事業を充実させる。
	2	交通安全施設の整備	道路の危険箇所への交通安全施設の新規設置及び老朽化した施設の改修や設置替えが必要となっている。	通学路の危険箇所・新規設置や改修等について情報収集し、関係団体(警察、教育課、地域整備課等)と連携して改善する。
	3			
	4			

11_交通安全対策の推進

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000001		交通指導隊運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,660,110 円			
施策体系	施策		11		交通安全対策の推進				四季ごとの交通安全運動や、町内で行われるイベント等において交通安全指導を行い、もって交通秩序の確立及び交通事故の防止に努める。				出勤時間の短縮するなど、負担軽減につながる措置を講じた。				事業実績				
	基本事業		01		交通安全意識の高揚												出勤時間・出勤回数				
					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
根拠	無	組織	総務課 消防・防災		課長		原澤 志利		小・中学校の交通安全教室などは別として、各種イベントの交通整理をすべて交通指導員に出动してもらうのではなく、費用や話し合いがつかば、民間の警備会社に一部委託を検討。				イベント主催者との協議し負担軽減を図る。				平成28年度		平成29年度		単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	2	項	1									目	12	422・1,266		391・1,321

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000002		交通安全意識啓発事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		318,351 円						
施策体系	施策		11		交通安全対策の推進				四季の交通安全運動などを通じ、交通安全に対する意識啓発を行う。				なし				事業実績							
	基本事業		01		交通安全意識の高揚												交通安全イベント実施回数							
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
根拠	無	組織	総務課		消防・防災		課長		原澤 志利		課題無し				なし				平成28年度		平成29年度		単位	
事業期間	継続事業		会計		1 款		2 項		1 目										12		43		40	

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業			000003		利根沼田交通安全センター運営費負担事業							① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	61,000 円	
施策体系	施策		11		交通安全対策の推進							交通センター管理費負担金の支払い事務。センターへの負担金を支払うことにより、運転免許更新者及び交通安全教育を実施、交通事故を未然に防ぐ交通環境の醸成に役立っている。			なし			事業実績		
	基本事業		01		交通安全意識の高揚													町内人身事故発生件数		
											②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策						
根拠	無	組織	総務課		課長		原澤 志利					課題無し			なし			平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	12	73							73	件	
	H ~ 年間																			

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000001		交通安全対策施設維持管理事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	5,444,557 円	
施策体系	施策		11	交通安全対策の推進						交通安全施設について、各行政区からの要望や道路状況等を勘案し、必要に応じて整備を行う。				カーブミラー22基設置、区画線2699m引き直を実施。				事業実績		
	基本事業		02	交通安全施設の整備														要望に対する設置率		
											②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策					
根拠	無	組織	総務課		消防・防災		課長	原澤 志利			予算執行に際し、地域整備課や群馬県警沼田警察署と協議し、より効果的に交通安全施設の整備を行う必要がある。				効果的な交通安全施設の整備。					
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	12										
H	～		年間													平成28年度	平成29年度	単位		
																69	68	%		

